

令和で取り組む課題



理事長 渥美公秀

令和に改元され、新しい時代が始まるという雰囲気作り上げられています。つい先日までは、平成がどういう時代だったのかと整理し、課題を提示するような言葉が溢れていました。令和になって心機一転前向きに進んでいこうという流れに何も逆らう必要はありませんが、平成の課題に封をしたり忘れ去ったりすることで前向きになったと考えたのでは、また同じ間違いを繰り返すことになりかねません。

平成は、災害の時代だったと総括されることも多くありました。確かに、私どもが関わらせて頂いた災害だけを振り返っても、阪神・淡路大震災(平成7年)から西日本豪雨災害(平成30年)まで、大きな災害だけを見ても国内各地で(そして世界で)あまりにも多くの方々が犠牲になられ、被災後の生活に苦しんで来られました。現場で突きつけられた課題は解決したのでしょうか。平成で残された課題や平成で煮詰まってしまった課題は、令和でこそ改善・解消していくべきだと思います。そこで限られたスペースではありますが、救援、復興、防災に分けて、NVNADから見た課題を改めて整理したいと思

います。阪神・淡路大震災から25年の節目を感じながら、令和の時代にNVNADが取り組んでいく課題です。

今回は、救援について整理します。災害が発生しますと、多くの災害ボランティアが被災地に駆けつけます。課題はたくさんありますが、ここでは2つ採り上げます。まず、どこへ行くかという課題です。メディアで採り上げられた被災地には多くの災害ボランティアが集まります。しかし、同じように被災していても災害ボランティアが足りないと言われることがあります。ボランティアの偏りの問題です。被災程度や人口などを勘案して災害ボランティアの最適人数といったものは計算できるかもしれませんが、しかし、地域の活動がしっかりと行われている地域もあれば、人間関係が極度に希薄になっている地域もあります。地域にとってよそ者である災害ボランティアは、どちらに力を注ぐのがよいのか、その判断はどのようにすればいいのか。災害ボランティアの偏りというだけの単純な問題では済まされません。

(次ページに続く)

- c o n t e n t s -

- P1・・・Vision 117
- P2・・・Vision 117(続き)／西日本豪雨災害支援活動
- P3・・・東日本大震災 その後…／ボラセン運営訓練／災害から考える西宮地域づくりフォーラム
- P4・・・災害時に備え親子で学ぶ料理／防災クイズ&運動会
- P5・・・佐用町活動報告／KSN交流会
- P6・・・親子でわがまち探検隊／子ども防災クラブ／高木春まつり
- P7・・・Nうごき／Nごよみ
- P8・・・会員・寄付者・募金者のみなさま／寄付のお願い／編集後記

次に、どのような活動を展開するのかという課題です。被害が高齢者や障害者に集中するという事態は、阪神・淡路大震災から指摘されてきましたが顕著な改善は見られません。被災しても声をあげられない方も多様におられます。そういう場面に繰り返し出会いながら、どうすれば必要な人々に必要な支援が届くかという重大な課題が改善されないままです。災害ボランティアといえば、現地の災害ボランティアセンターに駆けつけて、調整された作業に取り組むという流れができています。それはとても尊い活動ですが、多数の災害ボランティアの調整というだけで本当に必要な支援が届くでしょうか。高齢者・障害者、そして、様々な声をあげ

にくい人々にしっかりと寄り添っていくには、個別に細やかに人間関係を築いていく活動が必要となります。災害ボランティアセンターをはじめとする調整組織が当たり前になってきている令和の時代にこそ、1人1人に寄り添う活動をどのように続けていくか。NVNADにとって何より大切な課題の1つです。

NVNADが取り組むべき課題は、なかなか簡単に解決されるものではなさそうです。しかし、だからこそ、これからも現場に出向き、地道な活動を展開することを通して、学び続け、改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

西日本豪雨災害支援活動

昨年7月に豪雨に見舞われ、約4,500棟が甚大な浸水被害を受けた岡山県倉敷市真備。災害直後からこれまで延べ30日以上に渡り、西宮市社協や大阪大学などたくさんのボランティアの皆さんと支援活動に携わって参りました。この7月には1年を迎えますが、仮設住宅ではまだ多くの方が不自由な生活を余儀なくされており、また、復興住宅の建設やご自宅の再建、近隣のお店や医院の再開など、生活基盤が落ち着くまでにはまだまだ時間が必要かと思われまます。今回は、大阪大学の学生さんたちと仮設住宅での交流行事に参加させていただきましたので、大学生に報告させていただきます。

4月29日(月)、私たち大阪大学人間科学部 8名は、岡山県倉敷市真備町の仮設住宅にて炊き出しボランティアを行いました。会場でグリーンコープさんに教えて頂きながら、チーズフォンデュのための野菜やお肉の下ごしらえをしました。炊き出しには仮設住宅の住民が20名程来て下さり、みんなでチーズフォンデュを囲みながらグリーンコープさんの新鮮な食材を頬張りました。食後にはカラオケや折り紙などを行い、終始和やかな雰囲気の中で全体の会話も弾みました。

炊き出しボランティアを通じて、仮設住宅に住まわれる方々の楽しそうな笑顔や子供たちが元気に遊ぶ姿を目にすることができ、とても嬉しく思いました。しかし、お話を聞く中で、まだ被災した家屋の復旧が終わっていないことや、現在も多くの方が仮設住宅に住まわれているということを知り、真備町の復興にはこれからも支援が必要であると感じました。今回は炊き出しという形でボランティアをさせて頂きましたが、今後は家屋の復旧などまた別の側面から真備町の復興に携われたらと思います。



今回、ボランティア活動を行うにあたり、ご協力頂きましたNVNDAの皆さん、グリーンコープの皆さまに心より感謝いたします。また、天候が悪い中お集まり頂きました仮設住宅にお住いの皆さまにも心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。(学生代表 田代和加)

最後になりましたが、こういった被災地での支援活動は、多くの皆様からいただいた募金やご寄付によって支えられています。心よりお礼申し上げます。(事務局)

東日本大震災 その後…



東日本大震災から8年、3月11日は福島県郡山市にある復興公営住宅の東原団地集会所で迎えました。この東原団地のコミュニティづくりを応援、サポートされているNPO法人ハートネットふくしまさんの活動を支援するかたちで、我々NVNADも東原団地の活動に携わらせていただきましたが、今回の訪問で改めて変化を感じました。集会所で行われている行事が、より入居者主体で進められるようになってきている点です。この日はお楽しみ茶話会が行われましたが、入居者の皆さんが手際よく炊き込みご飯や煮物を準備してくださり、お手伝いに伺ったはずが、むしろもてなしていただき、楽しいひとときをご一緒させていただきました。震災が発生した14時46分には皆さんと追悼ろうそくを前に黙祷を捧げましたが、忘れないでいること、前を向いて歩むこと、双方の意味と大切さを感じました。

4月28日に再訪した折には、震災直後に活動されたボランティアさんが栃木からも来られ、総勢30名以上で柏餅づくりを楽しみました。生地をこね、餡を包み、柏の葉で包んだ餅を蒸し、出来立ての温かい柏餅を囲みながらの交流は、予定していた時間をはるかにオーバーし、あちこちで笑い声が弾む楽しい集いになりました。仮設住宅から復興住宅に移り、新たなコミュニティづくりが必要とされるなか、東原団地集会所のイベントは、参加者も多く活気が感じられます。お世話役の方々も積極的に関わっておられる成果とともに、震災直後から、被災者を中心に見据えた支援を続けてこられたハートネットふくしまさんの活動の在り方を改めて見させていただきました。我々の支援活動における学びとなるものでした。



2月9日(土)、西宮市役所東館8階の大ホールにて、西宮市、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者合同による「災害ボランティアセンターの運営訓練」を実施しました。阪神・淡路大震災規模の地震が発生したとの想定で、まず、総務広報班の訓練として、災害ボランティアセンター設置前の(ボランティアや被災者やマスコミなどからの)電話の問い合わせに対する対応訓練を行いました。そのあと、ニーズ受付訓練やボランティア受付訓練、ニーズとボランティアをつなぐマッチング訓練などを行い、最後に全体でふりかえりミーティングを行いました。

ボラセン運営訓練

これまでの訓練に加えて被災者からのニーズを想定準備し、ボランティア役の配置など、なるべく実践に近い形の訓練としました。結果として、各班での対応における課題点や、各班との連携の進め方など、実際に体験することで初めて多くの課題点や問題点を発見できたことが、何より大きな成果だったと思います。今回の訓練は、西宮市社会福祉協議会が中心となって作成中の災害ボランティアセンター運営マニュアルとも連動した取り組みで、今後も引き続きこの取り組みを継続していければと思います。西宮市の皆様、西宮市社会福祉協議会の皆様、当日ボランティア役として参加して下さった皆様、ありがとうございました。

2月20日(水)西宮市大学交流センターにて、西宮市社会福祉協議会、コープこうべ、NVNADの3者の主催で、フォーラムを開催しました。まず、グループに分かれて昨年の地震や台風での状況について自己紹介も含め話し合っていました。次に、西宮市防災啓発課とコープこうべさんに昨年の台風時の状況などについてミニ講演を行っていただきました。そして後半は、グループディスカッションということで、西宮市内で大きな災害が起こった場合、個人や地域で出来ること、備えておくことなどについて話し合っていました。最後に発表をしていただきました。アンケートをもとに、次年度のプログラムについて検討していければと思います。西宮市社会福祉協議会の皆様、コープこうべの皆様、準備や運営で大変お世話になりました。



災害から考える西宮地域づくりフォーラム

2月20日(水)西宮市大学交流センターにて、西宮市社会福祉協議会、コープこうべ、NVNADの3者の主催で、フォーラムを開催しました。まず、グループに分かれて昨年の地震や台風での状況について自己紹介も含め話し合っていました。次に、西宮市防災啓発課とコープこうべさんに昨年の台風時の状況などについてミニ講演を行っていただきました。そして後半は、グループディスカッションということで、西宮市内で大きな災害が起こった場合、個人や地域で出来ること、備えておくことなどについて話し合っていました。最後に発表をしていただきました。アンケートをもとに、次年度のプログラムについて検討していければと思います。西宮市社会福祉協議会の皆様、コープこうべの皆様、準備や運営で大変お世話になりました。

災害時に備え親子で学ぶ料理 ==== 西宮市受託事業 ====

初めての試みとして「災害時に備え親子で学ぶ料理教室」を実施しました。被災した時には避難所へ行くというイメージが一般的ですが、自宅での生活が可能であるなら取って避難所に行かず家に留まり、家にストックしている食品を組み合わせることで簡単に料理を作ろうという主旨です。災害時には疎かになりがちな『食』の面で、その道のプロ(料理人)から簡単な作り方を伝授していただくとともに、NVNADは、ローリングストックの大切さや被災地での取り組みをお伝えする役割を担わせていただきました。西宮市在住の4~6年生とその保護者を対象に募集、2~3月にかけて計6回行われたこの企画には、述べ82名の参加があり、毎回大好評でした。



実演に見入る子ども達

この度は、西宮・芦屋・神戸で活躍する料理人のグループ

* 「Le Lien (ルリアン) 絆~食楽」にご協力いただきました。

* 熊本地震の被災地支援のため和洋中で夢のコラボフルコース(一日限定)で得た収益を寄附した実績を持つ。



おにぎり+さば缶+牛乳=ぞうすい

以下順不同、るこら・るっこら(=ルリアン代表)、青椒、バザバ、リトルランカ、つみ木、パティスリー、ミューミュー、兵庫栄養調理製菓専門学校さまどうもありがとうございました。



被災地の現状をお伝えしています

防災クイズ&運動会

==== 西宮市受託事業 ====

3月23日(土)、西宮市役所前の六湛寺公園にて、西宮市在住の親子を対象に『防災クイズ&運動会』を開催しました。さくらFMと関西学院大学ヒューマンサービス支援室とのコラボ事業で、ラジオの生放送を聴きながら防災クイズにチャレンジするという初めての試みです。

第1部は、各自が持参した携帯ラジオから流れる3択問題を聞き、答えだと思ふ番号のコーナーに移動した後、ラジオから正解と解説を聞くというスタイルで、正解が発表される度に歓声が上がりました。第2部のプログラムはおさらいクイズと名付け、第1部と同じ問題を出題し、今度は借り物競争風に、ブルーシート上のたくさんの絵カードの中から正解を早く探し出しゴールするというものです。答えを伝えるのは禁止などのルールを決めていましたが、皆さん楽しそうに取り組んでくれました。そして、さくらFMの生放送が終了してからの第3部は、2チームに分かれて担架リレーを行いました。親子ひと組で毛布と棒を使って担架をつくり、その上に人形を載せて目標の三角コーンをまわって戻ってくるというのですが、担架のバランスが崩れて人形が落ちてしまうといったハプニングもあり、参加者から大きな笑いが起きていました。初めての試みで見直す点多々ありますが、楽しみながら防災について学ぶプログラムとして有意義であると感じました。

ご参加くださいました14家族42名の皆さま、お疲れさまでした。



佐用町活動報告

チャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)

2月23日(土)、チャコネットの学生さんたちと一緒に佐用町の畑で地元の方にアドバイスをいただきながら畑作業を行いました。



終了後は、笹ヶ丘荘の敷地内にある竹炭焼き窯へ移動し、学生さんが行っている作業に合流しました。佐用町は竹が有名ですが竹炭焼きも行われており、

水害直後から、地元の師匠に教えていただきながら竹炭焼きを続けています。

3月10日(日)は、いつもカフェでお世話になっているフーズくろださんのところで、地元の皆様&在校生主催によるチャコネット4年生の卒業式を開催しました。今年度は、大阪北部地震や西日本豪雨災害など災害が多発し、なかなか佐用町に訪問することが出来ませんでした。訪問のたびにあたたかく迎えてくださる佐用町の皆さまに感謝申し上げます。



4月6日(土)~7日(日)、チャコネットの学生さんたちと兵庫県佐用町に行ってきました。6日は午後から恒例のカフェがあり、翌日の桜まつりの準備作業など行いました。7日は朝早くから桜まつりが開催される笹ヶ丘ドームへ移動し、今年も子どもの遊びコーナーにて、竹炭石けん体験コーナーやバルーンアート、ヨーヨー釣りなどを担当させていただきました。桜がちょうど満開でお天気もよく、例年以上にたくさんの来場者で会場内はとても賑わいました。子どもの遊びコーナーにも、子ども連れの親子を中心にたくさんの方々が立ち寄ってくださいました。いつも宿泊などで大変お世話になっています笹ヶ丘荘の皆様をはじめ、このイベントの主催者である佐用町役場の皆様、いつもありがとうございます。



KSN交流会

K S N
(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)

2月17日(日)、事務所近くにある『ふれぼの』にて、KSN主催「子どもカフェ」第2弾を開催しました。前回同様子ども主体で運営準備を行い、3月24日(日)の子どもカフェ本番では、保護者の皆様をご招待しました。午前中は、子ども達によるおにぎりづくりを行い、ランチに合わせて子ども達が店員、保護者はお客様になっていただき、「子どもカフェ」を開催しました。注文を取って料理やデザート運び、最後に会計と一連の流れを実際に行い、子ども達にとってはとてもいい経験になったのではないかと思います。終了後は「ポッチャ」というスポーツを全員で体験し、最後は、関西学院大学の関ゼミ生の卒業式を行いました。1年間本当にお世話になりました。



おまかせしました♪



KSNの文字…見えるかな?



親子でわかまち探検隊



3月2日(土)、西宮市の高木公園にて「親子でわかまち探検隊」が開催されました。自分たちが住む町の公園にある防災倉庫や緊急貯水槽などを再確認し、使用方法を体験してもらうことで、災害発生時にその体験を生かそうという啓発行事です。

地区防災倉庫機材の紹介や体験と、マンホールを利用した緊急時トイレ場所の確認、そして今年は消防署の協力で水消火器による訓練や、火災現場に見立てた疑似体験もさせていただきました。一人ひとりのアルファ化米ができて上がるのを待つ間、水道局作製のDVDを鑑賞し、NVNADによる防災クイズで色々考えていただき、最後に試食体験をしてプログラムは終了しました。今回も80名ほどの参加があり、地域における防災への関心の高さを実感しました。いざという時は勿論こない方がいいのですが、備えをすることの重要性を改めて教えていただきました。瓦木消防署の皆さま、西宮市上下水道局の皆さま、ご協力ありがとうございました。



子ども防災クラブ

3月2日(土)、西宮市の高木北小学校にて、今年度最後の活動となる「子ども防災クラブ」を行いました。

まずは、プロジェクターから映し出される映像を見ながら1年間の活動を振り返り、活動にからめた3択クイズで大いに盛り上がりました。後半は子ども達が大好きな『プラ板』を作成する時間となりました。みんな熱心に思い思いのメッセージやイラストを描き、学生リーダーさんがオーブントースターで焼き、紐を通してくれたものをそれぞれに持ち帰ってもらいました。

今年は3人の6年生が卒業しました。一年間を通して学んだ防災の知識が、これからの人生に役立ってくれることを願います。



高木春まつり

4月14日(日)、西宮市の高木公園にて恒例の高木春まつりが開催されました。毎回好評をいただいているNVNADの魚釣りゲームのコーナーも、新しい釣竿効果のお陰か最高得点を更新する記録が続出し、小さいお子さんも真剣な表情で取り組んでくれました。途中からあいにくの雨が降り出しましたが、盛況のうち何とか無事終わることができました。この度も(株)フェリシモ様が提供くださった製品を活用させていただきました。この紙面をお借りしまして御礼申し上げます。



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

2月	6～7日	九州北部豪雨災害支援活動（福岡県朝倉市・熊本県益城町）
	9日	災害ボランティアセンター運営訓練（西宮市）
	14日	防災ゲームデモ（西宮市）
	17日	KSNプロジェクト交流会（西宮市）
		Newsletter Vol.118発行
	20日	地域づくりフォーラム2019（西宮市）
	23日	佐用町訪問（兵庫県）
	24日	防災教育事業（西宮市）
3月	2日	親子でわがまち探検隊（西宮市）
		子ども防災クラブ（西宮市）
	3日	防災教育事業（西宮市）
	8～11日	郡山市訪問（福島県）
	9日	川西公園イベント参加（兵庫県川西市）
	9～10日	佐用町訪問（兵庫県）
	9～11日	野田村訪問（岩手県）
	16日	防災教育事業（西宮市）
	17日	防災教育事業（西宮市）
	19日	通常理事会（西宮市）
	23日	防災教育事業（西宮市）
	24日	KSNプロジェクト交流会（西宮市）
	29日	防災講演会（東大阪市）
4月	7日	佐用町桜まつり（兵庫県）
	14日	高木春まつり（西宮市）
	20日	防災講演会（大阪府堺市）
	27日	防災講演会（大阪府八尾市）
	27～29日	郡山市訪問（福島県）
	29日	西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町）



Nごよみ

5月以降の予定・講演などのスケジュール

5月	15日	通常理事会（西宮市）
	17日	災害ボランティアセンター会議（西宮市）
		Newsletter Vol.119発行
	24日	NVNAD会計監査（西宮市）
	26日	防災講演会（大阪府八尾市）
6月	2日	西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町）
	15日	NVNAD通常総会（西宮市）
	24日	防災講演会（西宮市） ひょうごん総会（神戸市）
7月	6～7日	西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町）
	19日	防災講演会（西宮市）
	27～28日	佐用町水害10周年行事
	31日	KSNプロジェクト「千刈キャンプ」（兵庫県三田市）



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2019年2月1日～2019年4月30日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」北村英夫、鈴木勇、林幹高、桐山裕文、三好紀昭、渥美直子、森川博雄、山岸裕吉、山岸のぶ子、舟知正、魚島侑子、二宮英夫、齊藤秀子、佐々木真次、谷原和憲、萩原迪子、片岡幸壺、ハツ塚としえ、松本清子、山下佳子

個人賛助会員：「新規」仲井亜沙美

「継続」荒銀昌治、荒銀和子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、御内眞理、竹下養子、前内安一、三池好子、葉千鶴子、小栗優子、松山晋也、平崎百合子、武田育子、秋山洋子、赤対泰、赤対美千代、掛水須美枝、鶴田芳樹、石川智子、忽那須美男、中垣伸、吉岡啓次、山田明子、中島久美子、大里恵子、小村英子、藤森町子、鈴木憲一、廣瀬輝男、今井曜子、石井保江、渥美久栄、ハツ塚一郎、平井芳明、渡辺由子、小林良彦、小林静子、谷孝大、高橋聰子、渡辺清武、宮城久代、渥美杏奈、渥美樹里、山田和子、生田正枝、志賀理恵、萩原美紀

法人正会員：「継続」株式会社 関西技術コンサルタント、日本労働組合総連合会大阪府連合会

法人賛助会員：「継続」株式会社 京佐興産、

団体正会員：「継続」宗教法人真如苑

■寄付者のみなさま

舟知正、掛水須美枝、魚島侑子、二宮英夫、忽那須美男、吉岡啓次、山田明子、渥美久栄、小林良彦、宮城久代、近畿ろうきんNPO寄附システム契約者の皆様、鶴田芳樹、戸口始、戸口裕子、鈴木勇、ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■募金者のみなさま

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「熊本地震」星野典子

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂、株式会社フェリシモ

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

NVNADを支えて下さい

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた寄付は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【振込銀行】 三井住友銀行 西宮支店 普通 No. 7833406
(名義) 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は税制優遇を受けることが出来ます。

1月中旬～下旬に寄附金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですが住所と連絡先をお知らせ下さい。TEL 0798(34)9011

編集後記

令和時代がいよいよスタートしました。西暦に変換する簡単なコツを、みなさんだけにこっそりお伝えさせていただきます。令和を数字で言うと「018」なので、それに何年かをプラスすると、西暦に簡単に変換できます。例えば、令和10年なら「018」に「10」を足せば「028」になります。これに2千の位の「2」だけを足せば、『2028年』になります。ご理解いただけましたか？ 令和の時代が災害のない平穏な時代になることを祈りつつ。(H.T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀